

2019年8月7日(水) 五条川生物調査及び多自然化作業

【学習会の内容】

五条川の植物や生物の採取観察を行います。
また、5月11日(土)の環境学習会(岸辺づくり)で造成した岸辺に生き物が住みやすい環境を作るため植栽を行います。
右側の写真が造成した岸辺です。



※こちらの作業は一宮建設事務所の許可を得ています。

【学習会の様子】



NPO法人トンボと水辺環境研究所の川口先生と宮田先生から、岸辺の植物の大切さや、川に入る際の注意を聞きました。

川口先生

「5月の学習会では、家となる岸辺をつくった。でも、家だけでは生きていけないだろう？生きていくためにはご飯がいる。そのためには植物が必要なんだ。今回はそのご飯となる植物を植えよう。」



今回植える植物は、ヤマアゼスゲ・ショウブ・ミゾソバの3種類です。
5月のときと比べると水量が増え、流れも速いため歩くのも大変です。
それに負けず、みんなで植物を植えていきます。



作業が終わると全員アミとバケツを持って、いきものの調査をします。
その後、テキストをみながら、「五条川の昔と今」や「生きものと植物の関係」などの学習をしました。



左側の写真が今年造成し、植栽を終えたあとです。

右側の写真の左岸にみえる草が生えている場所が歴代の学習会で造成・植栽した場所です。

今年の造成した岸辺も多くの生きものがすむ家となりますように。

